

基 調 講 演

テーマ：河川堤防の被災を防ぐ研究の最前線

講 師：山口大学 工学部 准教授 もり 森 ひろとし 啓年



略 歴

京都府出身

○学歴

- 1997. 3 京都大学工学部土木工学科 卒業
- 1999. 3 京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻 修了
- 2009. 1 英国ケンブリッジ大学工学部 MSc 修了
- 2010. 7 東京大学大学院工学研究科 博士（工学）

○職歴

- 1999. 4 建設省入省．土木研究所，国土交通省水管理・国土保全局，総合政策局，国土技術政策総合研究所を経て
- 2016. 10 より 山口大学准教授

研究活動・著書他

○研究活動

河川堤防などの盛土構造物の調査・設計・対策・維持管理などに関する研究を実施

○著書（共著）

地盤工学会河川堤防の調査・検討から維持管理まで編集委員会編：地盤工学・実務シリーズ 33 河川堤防の調査・検討から維持管理まで，丸善，ISBN：978-4886449320，2020. 3

講演概要等

洪水から人命や資産を守ってくれる河川堤防は土で出来ています。河川堤防は川に沿って何十キロもの長さがあり，ずっと昔から少しずつ作られてきた身近な「盛土」です。しかし，河川堤防の被災について，その詳しい条件や過程には，未だ解明されていないことが多くあります。

本日の講演では，最初に河川堤防の特徴とその被災はどのような種類があるのか，実例をもとに紹介します。その後，中国地方の実際の河川堤防を対象に取り組んでいる，被災メカニズムの解明やスマート堤防の実験など，新しい研究の動向について説明します。